

普及現地情報



発信年月日：令和5年（2023年）3月28日
所属名：高島農産普及課
番号：H22020
部門分類：425（集落営農）
発信者名：中井、今村

集落営農の人材確保や組織運営を学ぶ先進地研修会を開催

米価下落が続くなか麦・大豆への転換促進と併せて、集落営農を担う次世代の人材育成が喫緊の課題となっています。そこで、高島市農業再生協議会では、令和4年度の経営所得安定対策等推進事業の「新たな生産体制モデル創出活動」により、関係機関が連携して集落でワークショップの開催などを働きかけ、世代間の話合いや自主的な問題解決の取組を支援してきました。

このたび、2月27日に、市内2集落の集落営農組織を対象に、野洲市木部の「農事組合法人にしきの郷」の取組を視察し、専従者を主体とした組織運営方法について学びました。

専従者を主体とした営農体制は高島市内での取り組みがなく、集落ぐるみ型からそれに転換する経過や賃金水準、生産と経営の役割分担など、運営に関するノウハウを学ばれました。また、高島市では今作より大麦から小麦への転換および生産拡大を進めており、当組合における小麦の栽培体系や作付品種についても情報収集され、有意義な研修となりました。

現地ほ場は生産基盤が良好で整然とし、施設は立派な建物で整理整頓されておりました。地域に農業の取組をアピールでき、専従者が意欲的になれる職場環境づくりも、安定経営の重要な要素であると感じました。引き続き、集落営農の発展に向けて支援を行っていきます。



運営のノウハウについてお話を聞きしたのちほ場と農舎を見学しました